

平成 22 年 3 月 4 日

各 位

中越パルプ工業株式会社

---

アースデイ東京 2010 に採用される環境配慮型用紙  
「竹紙」と「里山物語」のご紹介

---

このたび、アースデイ東京 2010 のパンフレット等の関連印刷物に使用する用紙として、当社の環境配慮型用紙「竹紙」ならびに「里山物語」が採用されました。



「竹紙」について

古来より竹は、食用としてタケノコを、生活素材として竹垣や竹籠などに利用することで、日本人の生活に深く関わってきました。ところが近年、生活様式の変化により竹の用途が激減し、竹林は放置され、周囲の里山を侵食してしまうことが、全国各地で問題となっております。どの樹木より成長が早い竹は、放置すると光を求めて周辺へ根を伸ばし、驚くほど短期間で周辺の森を竹の一斉林に変え、森の多面的機能や生物多様性を低下させてしまいます。

当社では、地域貢献と環境貢献の 2 つの見地から、国産竹の活用に取り組んでいます。もう 10 年以上も前から、地元タケノコ生産農家をはじめ、林業関係者、木材チップ加工業者の方々と力を合わせ、多くの問題をひとつひとつ粘り強く解決することにより、日本国内では不可能と思われていた「国産竹」の紙を安定供給する体制を構築してきました。竹を資源として有効利用することにより、地元で新たな経済活動を生み出すと同時に、里山の保全再生に役立ちます。この取り組みは、全国の関係者から大きな注目を集め、高い評価をいただいています。



「里山物語」について

上述した竹紙での実績をもとに、NPO の協力のもと、地球温暖化対策と生物の多様性保全に貢献するシステムを構築し、2009 年 12 月 7 日より販売と運用を開始したのが CRM\*<sup>1</sup>ペーパー『里山物語』です。今年の 10 月に名古屋市で「生物多様性条約第 10 回締約国会議 (COP10)」が開催されます。こうした中、国内では“人と自然が共生してきた空間”である里地里山に注目が集まっています。里地里山は農地や薪炭林として活用されてきましたが、役目を終えた多くの里地里山が、すでに開発等によって姿を消しました。現在かろうじて残された里地里山もほとんどが荒廃の危機にさらされ、私たちの身近にいた生物の多様性まで失いつつあります。そこで、NPO 法人 里山保全再生ネットワーク (本部：神奈川県) の協力のもと、里地里山の保全を支援する紙流通の仕組みを構築しました。

『里山物語』は、国産材なかでも間伐材を中心に積極的に調達・チップ化した国産材活用印刷用紙（クレジット方式\*<sup>2</sup>）で、林野庁が推進する「木づかい運動」\*<sup>3</sup>登録商品です。また、用紙価格に一定の寄付金を乗せているのが特徴です。寄付金は里山保全再生ネットワークを通じて、資金・物資面で全国の里山再生・保全団体の活動をサポートします。このスキームにより、用紙のユーザーは『里山物語』を印刷用紙として使用するだけで、生物多様性の保全と地球温暖化対策の両面で社会貢献することができます。また、ユーザーの支援金がどこでどのように使われたのかを公表することによって貢献度を可視化する、これまでにないサービスを付随しました。

当社は、これからも本業を通じて、地域社会と地球環境への貢献に取り組み続けてまいります。

- \* 1 Cause Related Marketing：マーケティング活動の一種で、エンドユーザーが購買行動を起こした時に発生する金額の一定の割合を、定められた目的のために寄付することを通じて社会に貢献します。
- \* 2 紙製品に対する従来の実配合による厳密な管理は多大なコストを要するため、製紙工場への証明書付き間伐材の入荷量に応じて、製造する紙に間伐材が配合していると見なす方式で、間伐材が利用しやすくなります。
- \* 3 林野庁は森林のCO<sub>2</sub>吸収量を増大するために、国産材の利用を推進する「木づかい運動」を展開しています。その一環として、国産材を使用した登録製品に「サンキューグリーンスタイルマーク」を付けることが認められており、CO<sub>2</sub>吸収の貢献をアピールすることが可能になります。

#### ■アースデイ東京 2010 へのリンク

URL：<http://www.earthday-tokyo.org/>

#### ■会社概要

名 称：中越パルプ工業株式会社

本社住所：東京都中央区銀座2丁目10番6号

代表者：代表取締役社長 原田 正文

URL：<http://www.chuetsu-pulp.co.jp/>

名 称：NPO 法人 里山保全再生ネットワーク

本部住所：神奈川県中郡大磯町国府本郷 1143-12

代表者：岩間 敏彦

URL：<http://satoyama-saisei.net/>

#### 【本件に関するお問い合わせ先】

担当者：営業本部 高岸 伸

TEL：03-3544-1501

FAX：03-5550-6202

以 上